

# 令和元年度 みつき童夢園自己評価

社会福祉法人クローバー福祉会  
 幼保連携型認定こども園みつき童夢園

健やかに、たくましく、優しい心育てる

私たちの使命は、おいしいエビエを作ること。

中期目標

本年度の重点目標

園児：直接体験を通じた気持ちの芽を育成する。  
 職員：研修等に積極的に参加し、資質向上に努め指導力を高める。  
 施設：夏場における高温・紫外線に対処した環境の整備に努める。

自己評価（保育の計画・健康及び安全：職員の資質向上と自己評価の3領域）

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	今年度の状況
保育の計画	(1)保育課程の編成	保育所保育方針、幼稚園教育要領に示されたわらわらい、内容を生活に取り入れた編成	B	保育、教育指導の効果的な指導を進めたが、カリキュラム編成に工夫が必要になることもあった。PDCAサイクルを意識し、見直しをもつことで更に効果的な活動を期待していきたい。
		長期・短期計画の作成	B	行事体験を通して身に付けさせたい思いを十分意識して取り組むことができた。
	(2)指導計画の作成と展開	生活の連続性・子どもの姿を考慮	A	月齢に応じた個別指導計画に沿った保育がなされた。
		未満児の個別計画	A	園外保育を積極的に行い、気持ちの芽を育てるように取り組んだ。
	(3)発達過程に応じた保育	以上児への協同的な活動の促し	B	到達目標を設定した個別計画を作成した。
健康及び安全	(4)特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ	B	多様な行動をする子どもの指導法を関係機関と連携して進めた。
		保護者・関係機関との連携	A	日程を調整し、相互参観・情報交換を実施した。(各就学先小学校)
	(5)関係機関等との連携	関係校区小学校との連携	A	地域行事等への参加を積極的に行った。保護者の対応も協力的であった。
		保護者・地域との連携	B	登園時の健康状態の確実な把握、体調不良時の対応及び着脱師による衛生指導を進めた。
		健康状態等の把握と疾病等への対応	A	消毒後の活用、定期的な業者による点検結果をもとにした園全体の安全管理に努めた。
職員の資質向上	(1)施設長の責務	安全点検・避難訓練等の実施	B	毎月1回は実施した。緊張感をもたせ、まずは確実な避難を目指した。
		食育計画の作成と実施	B	監査指導を受け、自己評価・改善策を模索するよう進めた。
	(2)自己研鑽	食育計画の作成と実施	B	保護者との話し合いをもとに除去食の在り方を検討した。おやつへの成分把握に留意した。
法令順守・職員指導・研修への促し		B	関係法規等を守り、子どもの健全育成に繋がるよう全体及び職員の状況の把握・指導に努めた。	
(3)目標管理	研修等への積極的な参加	研修等への積極的な参加	A	研修会等へ参加させ研鑽を積み、資質向上に努めるよう指導した。
		一年間の目標設定と振り返り	B	中・長期目標及び行動目標を見直し、次年度の改善策に努めていきたい。

達成状況：A 良好 B おおむね良好 C やや改善 D 要改善

## (総合評価) B

- 地域が誇れる認定こども園になれるよう、保育活動の啓発や地域行事への積極的な参加に努めた。子どもを真ん中に置き、園と保護者が手をつなぎ、信頼関係を樹立させていく必要性を今後も重要視していきたい。
- 子どもが、自然や人・生き物との触れ合い体験活動を計画的に進め、自ら気持ちの芽を更に育てていけるよう、職員を各種研修会に計画的に参加させ、職員の資質向上に努めていきたい。
- 安心安全は園づくり、喜んで登園・満足して降園できるように努めるよう園経営を進めていきたい。
- 職員の働く意識の向上及び職場環境の改善・充実を目指し、魅力ある職場を目指したい。

令和2年  
 社会福祉法人クローバー  
 幼保連携型認定こども園 園長 高 み

